

CASBEE京都-新築(2011年版)
上京区築業町計画新築工事

■使用評価マニュアルCASBEE京都-新築(2011年)
 ■評価ソフト: CASBEE京都-新築2011(v.1.)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		重点項目等	重点項目に対する全国版評価基準の見直し	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
配慮項目		評価点	重み係数				評価点	重み係数				
Q 建築物の環境品質											3.1	
Q1 室内環境								0.40				3.7
1 音環境								3.0	0.15	3.4	1.00	3.4
1.1 騒音							戸境壁の厚み180mm以上確保	3.0	0.50	3.0	0.50	
1 室内騒音レベル					3.0	1.00		3.0	0.50			
2 設備騒音対策					-	-		3.0	0.50			
1.2 遮音								3.0	0.50	3.9	0.50	
1 開口部遮音性能					3.0	1.00		5.0	0.30			
2 界壁遮音性能					3.0	-		4.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					1.0	-		3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					1.0	-		3.0	0.20			
1.3 吸音								3.0	-	1.0	-	
2 温熱環境								2.6	0.35	4.4	1.00	
2.1 室温制御							4.2	0.50	5.0	0.71	共用部及び住戸内にエアコン設置	
1 室温					5.0	0.63	5.0	0.63				
2 負荷変動・追従制御性					-	-	-	-				
3 外皮性能					3.0	0.38	5.0	0.38				
4 ゾーン別制御性					3.0	-	-	-				
5 温度・湿度制御					-	-	-	-				
6 個別制御					-	-	-	-				
7 時間外空調に対する配慮					-	-	-	-				
8 監視システム					-	-	-	-				
2.2 湿度制御							1.0	0.20	3.0	0.29		
2.3 空調方式							1.0	0.30	-	-		
3 光・視環境							2.0	0.25	3.5	1.00	3.3	
3.1 昼光利用							2.4	0.30	3.0	0.50	BAL・廊下庇及びカーテンボックス設置により対応	
1 昼光率					2.0	0.60	3.0	0.50				
2 方位別開口					-	-	3.0	0.30				
3 昼光利用設備					3.0	0.40	3.0	0.20				
3.2 グレア対策							3.0	0.30	4.0	0.50		
1 照明器具のグレア					-	-	-	-				
2 昼光制御					3.0	1.00	4.0	1.00				
3 映り込み対策					-	-	-	-				
3.3 照度							1.0	0.15	-	-		
3.4 照明制御							1.0	0.25	-	-		
4 空気質環境							3.6	0.25	3.6	1.00	3.6	
4.1 発生源対策							4.0	0.60	4.0	0.63	ホルムアルデヒド発散等級F☆☆☆☆採用	
1 化学汚染物質					4.0	1.00	4.0	1.00				
2 アスベスト対策					-	-	-	-				
3 ダニ・カビ等					-	-	-	-				
4 レジオネラ対策					-	-	-	-				
4.2 換気							3.0	0.40	3.0	0.38		
1 換気量					3.0	0.50	3.0	0.33				
2 自然換気性能					3.0	-	3.0	0.33				
3 取り入れ外気への配慮					3.0	0.50	3.0	0.33				
4 給気計画					-	-	-	-				
4.3 運用管理							3.0	-	-	-		
1 CO ₂ の監視					3.0	-	-	-				
2 喫煙の制御					3.0	-	-	-				
Q2 サービス性能							-	0.30	-	-	3.2	
1 機能性							2.7	0.40	3.6	1.00	3.5	
1.1 機能性・使いやすさ							3.0	0.40	4.0	0.60	メンテナンスが容易な仕上げ材を採用 倉庫の設置・照度等清掃作業に配慮した計画を	
1 広さ・収納性					3.0	-	3.0	-				
2 高度情報通信設備対応					1.0	-	4.0	1.00				
3 バリアフリー計画					3.0	1.00	-	-				
1.2 心理性・快適性							1.0	0.30	3.0	0.40		
1 広さ感・景観					3.0	-	3.0	0.50				
2 リフレッシュスペース					3.0	-	-	-				
3 内装計画					1.0	1.00	3.0	0.50				
1.3 維持管理							4.0	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計					4.0	0.50	-	-				
2 維持管理用機能の確保					4.0	0.50	-	-				
2 耐用性・信頼性							3.2	0.31	-	-	3.2	
2.1 耐震・免震							3.0	0.48	-	-	住宅性能劣化対策等級3取得予定	
1 耐震性					3.0	0.80	-	-				
2 免震・制振性能					3.0	0.20	-	-				
2.2 部品・部材の耐用年数							3.5	0.33	-	-		
1 躯体材料の耐用年数					5.0	0.23	-	-				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔					3.0	0.23	-	-				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔					3.0	0.09	-	-				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔					3.0	0.08	-	-				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔					5.0	0.15	-	-				
6 主要設備機器の更新必要間隔					2.0	0.23	-	-				

2.4 信頼性	1	空調・換気設備			3.2	0.19	-	-		
	2	給排水・衛生設備			3.0	0.20	-	-		
	3	電気設備			4.0	0.20	-	-		
	4	機械・配管支持方法			3.0	0.20	-	-		
	5	通信・情報設備			3.0	0.20	-	-		
3 対応性・更新性					3.1	0.29	2.8	1.00	2.8	
3.1 空間のゆとり										
	1	階高のゆとり			3.0	-	3.0	0.60		
	2	空間の形状・自由さ	●大切	A(全国版準用)	3.0	-	2.0	0.40		
3.2 荷重のゆとり					3.0	-	3.0	0.50		
3.3 設備の更新性					3.1	1.00	-	-		
	1	空調配管の更新性	●大切	A(全国版準用)	3.0	0.17	-	-		
	2	給排水管の更新性	●大切	A(全国版準用)	4.0	0.17	-	-		
	3	電気配線の更新性	●大切	A(全国版準用)	3.0	0.11	-	-		
	4	通信配線の更新性	●大切	A(全国版準用)	3.0	0.11	-	-		
	5	設備機器の更新性	●大切	A(全国版準用)	3.0	0.22	-	-		
	6	バックアップスペース			3.0	0.22	-	-		
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.30	-	-	2.4	
1 生物環境の保全と創出					●とも	A'(全国版準用)	1.0	0.30	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮					○	C(独自加点) D(独自基準)	3.0	0.40	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮							3.0	0.30	-	3.0
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上	●とも、 自然	A'(全国版準用)	4.0	0.50	-	-		
	3.2	敷地内温熱環境の向上	●とも	A(全国版準用)	2.0	0.50	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-	-	-	3.7	
LR1 エネルギー					-	0.40	-	-	4.6	
1 建物の熱負荷抑制							5.0	0.40	-	5.0
2 自然エネルギー利用							3.5	0.20	-	3.5
	2.1	自然エネルギーの直接利用	●自然	A(全国版準用)	3.0	0.50	-	-		
	2.2	自然エネルギーの変換利用	●自然	A(全国版準用)	4.0	0.50	-	-		
3 設備システムの高効率化							4.9	0.40	-	4.9
	集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)				#VALUE!	5.0	-	-		
	集合住宅の評価					4.9	-	-		
4 効率的運用							3.0	-	-	-
	4.1	モニタリング			3.0	-	-	-		
	4.2	運用管理体制			3.0	-	-	-		
LR2 資源・マテリアル					-	0.30	-	-	3.1	
1 水資源保護							3.4	0.15	-	3.4
	1.1	節水			4.0	0.40	-	-		
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-		
	1	雨水利用システム導入の有無	●自然	A(全国版準用)	3.0	1.00	-	-		
	2	雑排水等利用システム導入の有無			3.0	-	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減							3.1	0.63	-	3.1
	2.1	材料使用量の削減	●大切	B(推奨内容) D(独自基準)	2.0	0.07	-	-		
	2.2	既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.24	-	-		
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	●大切	B(推奨内容) D(独自基準)	3.0	0.20	-	-		
	2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	●大切	A'(全国版準用) B(推奨内容)	3.0	0.20	-	-		
	2.5	持続可能な森林から産出された木材	●自然	B(推奨内容) D(独自基準)	3.0	0.05	-	-		
	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	●大切	A(全国版準用)	4.0	0.24	-	-		
3 汚染物質含有材料の使用回避							3.0	0.22	-	3.0
	3.1	有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32	-	-		
	3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.68	-	-		
	1	消火剤			-	-	-	-		
	2	発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-		
	3	冷媒			3.0	0.50	-	-		
LR3 敷地外環境					-	0.30	-	-	3.2	
1 地球温暖化への配慮							4.1	0.33	-	4.1
2 地域環境への配慮							2.5	0.33	-	2.5
	2.1	大気汚染防止			3.0	0.25	-	-		
	2.2	温熱環境悪化の改善	●とも	A(全国版準用)	2.0	0.50	-	-		
	2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.0	0.25	-	-		
	1	雨水排水負荷低減			-	-	-	-		
	2	汚水処理負荷抑制			3.0	0.33	-	-		
	3	交通負荷抑制			4.0	0.33	-	-		
	4	廃棄物処理負荷抑制			2.0	0.33	-	-		
3 周辺環境への配慮							3.0	0.33	-	3.0
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-		
	1	騒音			3.0	1.00	-	-		
	2	振動			-	-	-	-		
	3	悪臭			-	-	-	-		
	3.2 風害、日照阻害の抑制				3.0	0.40	-	-		
	1	風害の抑制			3.0	0.70	-	-		
	2	砂塵の抑制			-	-	-	-		
	3	日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-		
	3.3 光害の抑制				3.0	0.20	-	-		
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-		
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	●大切	B(推奨内容)	3.0	0.30	-	-		

記号凡例 ●:重点項目 ○:低炭素景観創出に係る項目

重点項目キーワード凡例 「大切」:大切に使う 「とも」:ともに使う 「自然」:自然からつくる